

長岡地区納税貯蓄組合連合会長賞 優秀

新潟県の財政危機について考えたこと

長岡市立越路中学校

三年 山本 似虹

先日新聞で、新潟県の県財政危機という見出しを目にしました。そこで書かれていたのは、二〇二一年には、新潟県の財源対策的基金がゼロになってしまいかもしれないという記事でした。どうすれば、このような事態を防ぐことができるのでしょうか。

私はまず、新潟県の財政危機に人口が減ってきていることと、高齢化が関係していることを調べてみました。新潟県は年間二万人ものペースで人口が減り続けています。そうすると、国から配られる「地方交付税」は人口などを反映しているものなので、配られる額が減ってしまうそうです。また、高齢化が進んでいるので、介護や医療など福祉分野にかかる費用もまた増えきていそうです。

次に、新潟県特有の地形などが財政危機に関係していることを調べてみました。新潟県の面積は全国五位と広く、海に沿って長細いので、海岸線も長いです。また、一級・二級河川の長さの合計は全国二位、農業も盛んなため耕地面積も全国二位となっています。そのため、お金をかけて手入れしなければならぬものが多いのが財政危機に少しですが、関係しているよう

です。

また、新潟県の借金自体は緩やかに減ってきていますが、人口減少による地方交付税が減り、県は借金し続けて県が自分で返さなければならぬ借金が増えてしまったそうです。

私は県の借金と、県立病院の経営悪化が、財政危機に大きく関係していることを調べました。県の借金については、税収が増えると思っていたのに、税収は想像以上に増えず、見通しが甘かったことが問題の一つだそうです。県立病院については、県立病院に勤めている医者の給料は公務員と同じ税金から支払われていることと、県立病院を沢山つくったのに患者が少なかったり、最新医療機器の購入費がものすごく高いなどということがわかりました。また、県立病院でかかるお金のほとんどが税金で支払われているということもわかりました。

今回、新潟県の財政危機について調べてみて分かった問題点などをまとめて考えてみました。まず、いきなり人口を増やすということは極めて難しいことだと判断し、新潟県から若者を他県にいかせないようにすることが大事だと思いました。もし大学等で新潟県を出てしまったら、また新潟県へ帰ってきたくなるような環境作りが大切だと思います。あとは、県立病院を減らすべきだと考えました。なぜなら、沢山の税金が使われているからです。県立病院をこれ以上増やすことは、自分で自分の首を絞めるのと同然だと思えます。

そして、最後に大人の方々が汗水流してかせぎ、国に納めている税金をもっと大切に使うて欲しいです。それで、大好きな新潟の財政危機が少しでもよくなることを願い、私も大人になったら国のために、県のために、税金を納めたいと思います。